

チーム名 & ロボット名	参加者 名簿	
テクフリルーキーズ	チーム代表者: 伊藤 寛朗(イトウ ヒロアキ)	
	チーム監督者: 伊藤 寛朗(イトウ ヒロアキ)	
	チームリーダー: 上田 貴也(ウエダ 貴ヤ)	
	ロボット操縦者: 中村 秀正(ナカムラ ヒデマサ)	
<p>carrie004</p> <p>キャリー004</p>	<p>参加予定者: 中東 佳佑(ナカヒガシ ケイスケ), 伊藤 寛朗(イトウ ヒロアキ), 渡邊 尚登(ワタナベ ナオト), 上田 裕嗣(ウエダ ユウジ), 辻本 祐希(ツジモト ユウキ), 市川 直人(イチカワ ナオト), 高井 翔司(タカイ ショウジ), 高野 活機(タノ カツキ), 今井 靖(イマイ ヤスシ), 上田 貴也(ウエダ 貴ヤ), 岡田 紘和(オカダ ヒロカス), 五明 俊人(ゴメイ シュント), 松野 元則(マツノ モトノリ), 渡邊 将統(ワタナベ マサル), 中瀬 与夢(ナカセ アトム), 中村 秀正(ナカムラ ヒデマサ), 玉置 直誠(タマキ ナオアキ), 松島 申悟(マツシマ シンゴ), 森 理人(モリ マサト), 吉田 和矢(ヨシダ カズヤ), 上村 真生(ウエムラ マサオ), 新田 迅(ニッタ ジン)※変更あり</p>	
	<p>ロボット製作費</p>	<p>¥200,000</p>
	<p>ロボットの大きさ</p>	<p>400 × 600 × 1000</p>
	<p>ロボットの重量</p>	<p>15kgs</p>
	<p>特 徴</p>	
<p>一番の特徴は、ウィルバン谷ゾーンを越える為のロボットと一体化した大きな橋です。スタート時は縦向きですが、谷を越える時に横向きに橋をかけ、その橋に乗り谷を越えていきます。つまり、自身を踏み台にして越えていくわけです。そして橋を渡り終えたら橋を引っ張り競技を進めていきます。そして300×300の車体部上にリンク機構のアームがあり、アームの先には球体も持てるようにひと工夫されています。</p>		
<p>製作時のエピソード (苦労話・話題など)</p>		
<p>今大会はほぼロボットの大きさ分の谷という障害があり、どのような戦略を用いて勝利を掴むかと言うところで。色々な案を出しました。中には谷を越えずに長いアームでなどというものもでしたが、考えた末に谷を越えて得点を稼ぐということになりました。しかし越えていくとなると一度ではなく何度も往復しないといけないということで、色々な案を形にしていき最終的にこの案となりました。</p>		